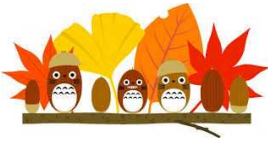




真鍋っ子

学校情報誌 No. 10
平成29年 9月発行
真鍋小学校 校長室



「目標をもち、自分の考えを表現できる子」 (かしこい子)をめざして

本校の指導の重点の1つは、『学力向上の推進』です。
昨年に引き続き、中学校とも連携をとりながら、意欲的に取り組む態度や思考力・表現力の育成のために全職員で取り組んでいます。

分かる授業づくりで、基礎学力の定着

先日、6年生で算数科の授業研究を行いました。
「比」を利用した考え方で問題解決するために、担任と問答をしながら見通しを立てて頑張っていました。ふだんから自分の考えを説明する場を大切にしています。教室内で担任と話すだけでなく、職員室の先生に説明を聞いてもらうこともあります。
保護者の方に授業に参加していただいたり、学校へ来られた方に発表したりできる機会も、話す場として活用しています。
また、デジタル教科書を使ったり板書を工夫したりして、分かりやすい授業になるように心がけています。



言語活動の場づくりで、表現力の育成

ふだんの学習は少人数で行っているので、「交流」をテーマに、今年は新たな活動を計画しました。いろいろな場で、いろいろな人とふれあい、表現力を養っていきたいと思っています。

- 10/10(木) 神島外小学校で 音楽鑑賞会 (島嶼部小中学校参加)
- 11/9(木) 人と科学の未来館「サイピア」(岡山)から遠隔サイエンスショー実施
- 11/11(土)「走り神輿コンテスト」展示 (後日、招待給食実施)
- 11/27(月) 新山小学校で 交流学习 (事前事後はスカイプで交流)
- 2/2(金) 六島小学校で 交流学习

新たな計画には、福武教育文化振興財団から補助をいただきました。29日には、いきいき交流スクール第3日、10月には連合修学旅行もあり、楽しみです。

家庭学習や読書の習慣づくりで、自ら学ぶ態度の育成

学習内容の定着を図るためには、定期的な復習が必要です。
4月、6年生児童には全国学力・学習状況調査、4・5年生児童には県の学力検査を行いました。その結果は、お子様の学習の様子参考資料として、ご家庭にお返しするとともに、学校としても課題を把握し、上記のように、教育活動を改善するために活用させていただいています。

「放課後学習」「ホリデーチャレンジ」「夏チャレンジ」で、反復練習する機会もありますが、自分で目標をもって計画的に生活や学習をする習慣を身に付けることは、人としてよりよく生きるためにとても大切なことです。

これからもご家庭や地域で温かく見守っていただき、適切なお助言や励ましをいただけますようよろしくお願い申し上げます。

